

2016.5.15
No.154

議会だより たなぐら



～やったあ～

十万石棚倉城まつり

平成28年度当初予算決定	2
補正予算	6
町の考えを問う 一般質問	9
議会活動状況	21
議会モニター	22

発行責任者／議長 大相 守 編集／棚倉町議会広報編集常任委員会
〒963-6192 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野33
☎(0247)33-7882 FAX(0247)33-3715

URL: <http://www.town.tanagura.fukushima.jp/>
e-mail: gikai@town.tanagura.fukushima.jp

第1回

棚倉町に 住んでみて

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに
住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。



今回の154号から「議会モニター」をスタートしました！
町民の方々の声をお届けします。

「議会だより」いつも楽しみにしています。町の状況や、国の決定による町の対応などを知ることが出来るほか、なんとと言っても棚倉町の未来を見ることが出来ます。

12月議会のものでは町の景観や観光、防犯や痴ほう症などの健康医療問題まで、町の問題や魅力発掘の取組みまで見ることができ、実現を応援したくなるものもありました。

これからも安心して活気あふれる町づくりのアイデアや意見、明るい未来が議会だよりの中でたくさん見れることを期待します。

新町にお住まいの
中野 賢栄さん



大梅にお住まいの
波多野 恵子さん

城跡にお住まいの
吉田 朋永さん



議会傍聴をしたいが、平日は仕事で難しいため、議会だよりである程度の内容を知ることが出来ます。ただ、「問」に対しての「答」は簡潔過ぎて臨場感が伝わってきません。もう少し、答えをわかりやすく具体的に記載して欲しいと思います。広い年齢層に受け入れやすい様、子供たちでもわかりやすく、イラストの様なコーナーがあっても良いと思います。前回の表紙は、棚倉町の為に活躍している方々の写真を使っており頼もしく感じました。

編集後記

この度、熊本・大分大震災が発生し、犠牲になられた方々に哀悼の意を表すると共に、被災された県民にお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

3月定例会議は、改選後の定例会議で、活発な議論が展開されました。

広報編集常任副委員長
鈴木 政夫

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は(予定)
6月14日(火)
16日(木)です。



広報編集常任委員会

委員長	藤田 智之
副委員長	鈴木 政夫
委員	藤田 光子
委員	菊池 忠二
委員	近藤 正光

平成
28年度

棚倉幼稚園

3歳児保育試行で



子育て支援

3月
定例会

棚倉保育園新園舎建設補助事業



平成30年4月開園を予定

すこやか赤ちゃん応援事業



育児用品の購入費用助成や
ブック配布など

予防接種事業



子どもインフルエンザ予防接種助成・
おたふくかぜワクチン接種助成の追加

平成27年度に引き続き行う事業

- 除染対策
- 道路整備と道路維持補修
- ふくしま森林整備
- 里山保全・整備
- 学力向上支援推進
- 米の全量全袋検査 など



平成28年度 町長の事業内容説明

3月定例会は、3月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。平成28年度当初予算や平成27年度補正予算、条例の制定や改正、専決処分の報告、追加議案の人事案件などについて審議し、すべて原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、11名の議員が活発な質問を展開しました。

平成28年度各会計の予算額

(△は減額表示、1万円未満切捨て)

会計名	28年度予算	27年度予算	比較			
			増減費	伸び率		
一般会計	68億1,700万円	69億1,000万円	△9,300万円	△1.3%		
特別会計	国民健康保険	17億4,697万円	18億3,630万円	△8,933万円	△4.9%	
	後期高齢者医療	1億2,925万円	1億2,983万円	△58万円	△0.4%	
	介護保険	13億4,577万円	12億9,752万円	4,825万円	3.7%	
	簡易水道事業	8,989万円	8,544万円	445万円	5.2%	
	公共下水道事業	2億7,333万円	2億3,961万円	3,372万円	14.1%	
	農業集落排水事業	7,341万円	7,419万円	△78万円	△1.1%	
	霊園整備事業	74万円	64万円	10万円	15.6%	
上水道事業会計	収益的収支	収入	4億2,691万円	4億2,528万円	163万円	0.4%
		支出	13億8,043万円	3億7,900万円	10億0143万円	264.2%
	資本的収支	収入	7,919万円	5,189万円	2,730万円	52.6%
		支出	2億2,248万円	2億1,960万円	288万円	1.3%

当初予算審議

第6次棚倉町振興計画を推進するため慎重に審議しました。



予算特別委員会

原子力災害対応雇用支援事業補助金の大幅減の理由は。

総務課長

福島県補助金(緊急雇用)の該当事業が大きく絞られてしまったため。

幼稚園大規模改修事業費の内容は。

教育総務課長

社川幼稚園老朽化に伴う、屋根・設備関係の改修工事等となり、設備に関しては、3歳児受け入れにあたって設備を充実させるもの。

図書館費(図書購入費)における、図書購入の選定基準はあるのか。

生涯学習課長

図書モニター、専門家、利用者からの要望を踏まえて購入しているが、予算の範囲であるため、購入できるものから準備する。

農林水産PR支援事業費のアンテナショップの成果・効果は。

商工農林課長

アンテナショップの目的は売上だけでなく、当町農産物の安全安心PR、観光スポットのPRを展開しているが、グリーンツーリズム等を利用して来町者が増えている。

ルネサンス棚倉費が増えた理由は。

商工農林課長

スポーツ・レクリエーション基地整備建設基金積立金および、行政財産目的外使用料となっている。

高齢者にやさしい住まいづくり事業費助成金制度の周知方法は。

健康福祉課長

補助要綱を改正し、委任払いをできるようにした。その結果、ケアマネージャー経由で周知され、申請も増えてきている。今後も、地域包括センター、民生委員の方々にもお願いしていきたい。

国民健康保険特別会計

低所得者に対する国保税の軽減措置は図られているのか。

住民課長

判定基準により、2割、5割、7割の3段階で軽減している。

公共下水道事業特別会計

公共ますの設置方法について。

上下水道課長

既存ますの設置等ではなく、新築住宅建築に伴い、農地を宅地へ変更する際のますの設置費用。

介護保険特別会計

要支援1、2、要介護の段階ごとの人数は。

健康福祉課長

要支援1、2は、170名。要介護1〜5で、533名。合わせて703名。

上下水道事業会計

水道管の老朽化が進んでいるが、その対応は。

上下水道課長

水道ビジョンを策定し、新たな創設で28年度から補助金を受け、石綿セメント管、老朽管を長寿命化していきたい。

当初予算採決の状況

一般会計予算の原案をめぐって討論が行われました。

反対 鈴木 政夫 議員

町長より平成28年度主要重要施策について説明がなされた。将来を担う人材と文化を育む町について述べられたことは、極めて重要なことであると評価はするが、しかし現在、人口の減少、出産率の低下、働く場所の減少、若者の町外流出など、このままだと人口の減少と高齢化の町になってしまう。これに歯止めをかけまちを再生することが最大の課題であるので、他町村も取り組んでいる給食費の軽減化、企業誘致、ふくしま森林再生など、たくさんの課題が残されたままである。これは、湯座町長の本意ではないと受けられる。今後、町民の要求と町の将来に寄り添った施策を發揮されるよう2期目に期待し反対とする。

賛成 和知 裕喜 議員

日本経済再生に向けた緊急経済対策等に基づく補助金を有効に活用するなど、積極的な財源の確保に努めるなど町財政健全化のための努力が見られる。また、町の重点施策である少子化対策、子育て支援の充実や、新規には、すこやか赤ちゃん応援によるブックスタート事業、インフルエンザ予防接種助成事業、棚倉保育園新園舎建築費補助事業などの子育て支援策を一層充実させている。社会基盤整備や、地域活性化に向けた各事業が予算に反映されている。第6次棚倉町振興計画に掲げる施策実現に向け町政の発展を目指そうとしている予算を、賛成する。

条例制定及び改正等の主なもの

棚倉町ひとり親
家庭医療費の
助成に関する
条例の一部改正



「DV防止法による保護命令を
受けた児童を監護する家庭」等を追加

棚倉町いじめ問題対策
連絡協議会等に関する条例



各専門の委員会を、いじめ防止対策
推進法に基づき設置し、
いじめの防止・早期発見・対処等を行う

棚倉町上水道施設設置に
関する条例の一部改正



堀川ダムからの受水にともなう各水道施設を
白河地方広域市町村圏整備組合へ帰属

山岡小学校が
改修されました



専決処分の報告



山岡小学校耐震補強改修工事請負変更契約締結
変更金額：449万円増
変更後契約金額：1億9,997万8千円

平成27年度補正予算

国の補正予算を活用し
28年度へ繰り越して実施する主な事業

情報管理



マイナンバー利用のための
情報セキュリティ対策

地域創生加速化事業



地域創生先行型上乗せ事業・
ヘルスツーリズム追加事業・定住、
地域居住推進事業等の実施

年金生活者等支援臨時福祉
給付金給付事業



65歳以上の年金受給者で、
町県民税が非課税または、
課税者の扶養になっていない方が対象
(1人3万円の臨時給付金)

3月補正予算の状況

(△は減額表示、
1万円未満切捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	3,231万円	73億3,944万円
特別会計		
国民健康保険	302万円	18億3,365万円
後期高齢者医療	84万円	1億3,068万円
介護保険	△5,740万円	12億8,201万円
農業集落排水事業	△790万円	7,588万円
公共下水道事業	△297万円	2億4,147万円
霊園整備事業	8万円	72万円
上水道事業計画		
収益的支出	103万円	3億9,458万円
資本的収入	67万円	4,004万円
資本的支出	△2,380万円	1億9,987万円

ルネサンス棚倉の活用
に補助が付きまして



棚倉町政を問う

その他の条例制定・一部改正（抜粋）

- ◆棚倉町職員の降給に関する条例
地方公務員法の規定により降給等について定めなければならぬとされたため
- ◆棚倉町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法及び地方独立行政法人法の改正に伴うもの
- ◆議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◆棚倉町長等の給与に関する一部を改正する条例
- ◆職員給与に関する条例の一部を改正する条例
福島県人事委員会の報告及び勧告に基づく期末手当等の改正によるもの
- ◆棚倉町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律が公布されたことによるもの

陳情

- ◆棚倉町いこいの村条例の一部を改正する条例
除染廃棄物の仮置き場となつて居るため、現状の実態に合わせた改正
- ◆棚倉町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例
本団運営や組織力充実・強化を図るための改正
- ◎「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置をもとめる陳情」
提出者 軽度外傷性脳損傷仲間の会
代表 藤本 久美子
- ◎「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について」
提出者 日本労働組合総連合会
福島県連合会 東白川地区連合会
議長 陣野 一弥
- ◎「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の陳情について」
提出者 日本労働組合総連合会
福島県連合会 東白川地区連合会
議長 陣野 一弥
- ◎「労働時間と解雇の規制強化を求める意見書」を国に提出することを求める陳情
提出者 白河地方労働組合総連合会
議長 河原 一夫
- ◎「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書
提出者 白河地方労働組合総連合会
議長 河原 一夫
- ◎「安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書
提出者 白河地方労働組合総連合会
議長 河原 一夫

問 2選出馬の所信を問う

答 再度町長選に立候補をし、町民の期待に応えたい

問 平成24年9月に就任以来、任期も残すところ5ヶ月余りとなっている。

この間、町長は、生きがいのあるまちづくりをスローガンに掲げ、安全・安心なまちづくり、自立できるまちづくり、そして教育のまちづくりの3つを町政の基本の方針として取り組んできたこと、それに着実な成果を上げてきたことは多くの町民の認めるところである。

湯座町長一期目の主事業に触れてみようと、計画行政の基本となる第6次棚倉町振興計画の策定を初め、米の全量全袋検査、図書館の建設、キャリア教育推進事業、全行政区での行政懇談会、横浜市鶴見区内にアンテナショップの開設、棚倉総合体育館耐震補強改修工事、八溝山周辺地域定住自立圏形成に関する協定締結、ルネサンス棚倉クアハウス改修工事、山岡小学校耐震補強改修工事など、各種のソフト・ハード事業に積極的

に取り組んできた。

さて、今日の地方自治体を取り巻く情勢は、国庫支出金の見直しや地方創生予算の重点化など、頑張る地方自治体を支援する算定を強化・推進することとしている。しかしながら、総務省の地方交付税の概算要求は、厳しいものがあり、極めて重要な時期を迎えている。

こうした状況の中、本年9月に任期を迎える町長選挙に対し、湯座町長は現在、本町が置かれている厳しい現状と住民の声を前向きに受けとめ、町長の2選出馬について所信を伺う。

町長 平成24年9月に当選以来、一貫して、共に生きる、共に育てる、まちづくりを基本に、生きがいのあるまちづくりに全力を尽くしてきた。

この間、議員の方々の棚倉町を思う深いご理解とご指導をいただきながら、さらには町民の皆さんの温かいご支援、ご協力により、本



町長答弁の様子

町が確実に進展をしている。同時に、今日の地方自治体を取り巻く環境は、人口減少社会に加え、国・地方を通じた厳しい財政状況、少子・高齢化の急激な進行などの状況下において、本町においても例外ではなく、農林業、商工業などの振興策はもとより、次代を担う児童・生徒の子育て支援策や教育環境の整備、地方創生の取り組みなどの重要課題への対応が求められている。



まつもと えいいち 松本 英一

これまで3年余り取り組んできた町政運営の基本姿勢を持って、こうした各般の課題はもちろんのこと、まちづくりに大切なのはチームワーク、チームたなぐらの理念のもと、私が目指すところの安心・安全なまちづくり、自立できるまちづくり、教育のまちづくりの実現に、議員の皆様方はもとより、町民の皆様方と職員がともに知恵を出し、汗を流して取り組んでいくことが極めて重要であると考えている。

第6次振興計画に掲げた目標実現のため、引き続き本町まちづくりに全力で取り組むことが私の責務であると深く認識し、再度町長選に立候補をし、町民の皆様方の期待に応えていくことをここに表明をする。

人事・案件

2件の人事案件について
全会一致で同意しました。

棚倉町監査委員の選任



藤田 啓一朗さん (古町)

人権擁護委員候補者の推薦



畠山 真一さん (新町)

問 3年保育実施に向けての事前対応と今後について 答 全面実施に向け、課題を見つけ解消していく

問 25名の定員に対し32名が応募し7名が不許可とされたことで、これまで同年齢の子を持つ親同士が築いてきた人間関係が損なわれたという現状が生じてきている。前もって希望者の人数を把握し条件を提示し誰もが納得のいく受け入れ方を行うべきではなかったのか。

教育長 25名を超えた方については不許可になってしまったが、募集の段階と、入園考査当日の説明で保護者にはお伝えしている。

問 現場の受け入れについては十分な対応ができた上での実施でなければならぬが、担当教諭の人数、対応については。

教育長 現時点では、3歳児クラスはチーム・ティーチングによる対応を予定。職員数についても実際に開始したなかで対応していく。

問 3年保育児が預かり保育を希望した場合の受け入れ環境、職員増員についての考えは。

教育長 4・5歳児と同じく対応の予定。職員数については現況を見ながら検討する。

問 放課後児童クラブについて

答 各小学校の状況に応じた態勢で実施している

問 棚倉町基本目標設定のひとつに、環境の充実がうたわれているが、環境や指導員の配置は。

町長 各学校と協議のうえ空き教室等を利用している。指導員の配置は、棚倉5名、社川3名、近津2名、高野2名を予定している。

問 長期休業中の学校との連携について。

町長 棚倉小学校は通常通り鍵の管理等は指導員が行う。他の小

学校は平日の利用より児童数が減るため子どもセンターにて実施している。

問 母親が働きに出る朝の多忙な時間軽減のために、長期休業中の給食提供の配慮はできないか。
町長 全生徒が利用するわけではないため、学校給食の提供は難しい状況にある。

問 北町新町2号線の町道の路肩、側溝について

答 優先して計画的に整備するため、今年度の当初予算に計上している



改修工事予定の路肩・側溝

問 根子屋川なかよし公園の整備計画はあるか

答 平成8年に福島県と管理協定に基づき、安全で快適な公園の維持管理を引き続き進めていくが、今後の利用状況に応じて施設整備等については、その都度検討していきたい



藤田 光子

問 今まで整備されていなかったため、多数のけが人が出ている。ここは通学路でもあり早急な対応を必要としているが具体的な内容は。

町長 国の社会資本整備総合交付金を活用し優先して計画的に整備する。

問 出生率、数値目標達成の当局の対応を問う 答 子育て環境の充実、婚姻率の上昇を目指す

問 未婚の方々に結婚のご縁がある様にと、様々な工夫、イベント事業等の成果と、今年度の予定は。

町長 地方創生総合戦略事業として未婚者の出会いの機会を創出する婚活イベントで町単独開催や、広域市町村合同開催の総数で267名の参加者、カップル誕生は35組で、28年度もこの事業推進を図っていきたい。

問 若い世代が子供を産み育てようとした時、我が町の住みやすさや魅力をどう考えるか。

町長 保育園待機児童ゼロを目指し、子育て世帯に対する支援制度を創出する。

問 出生率が向上する様、又、働く女性を支援する為の女性同士のコミュニケーションの場を提供する考えがあるか。

企画情報課長 女性に特化した計画はない。



たくさんの出会いがあることに期待

問 スクールバス、幼稚園の送迎バス運行の状況は

答 スクールバス2台、幼稚園バス4台運行

問 運行管理に付いて悪天候や災害時、どのような安全基準で運行されているのか。

教育長 道路交通法、関係法遵守等、委託契約の中で定めている。

問 通学支援制度に基づく運行だが、二千百の負担は、公平の観

点から道路運送法コンプライアンスに抵触してないか。
教育総務課長 二千百の負担は、条例上規定で、コンプライアンスに付いて問題は無いと認識している。

問 保護者の声に更に安全の為、四駆バス運行の声が有るようだが代替の予定はあるのか。
教育総務課長 この辺は今後十分に検討していく。

問 認定農業者育成について

答 本年2月末で70経営体、82名に増加している

問 現在82名の認定農業者にどのような育成事業、支援等をされているのか。

商工農林課長 農業経営専門指導員1名嘱託で雇用、支援、アドバイス等を行っている。



菊池 忠二

問 第6次棚倉町振興計画では、農業者間の交流、経営技術の研修と育成事業とあるが現在の活動は。
商工農林課長 現在、認定農業者の会があり、町のイベント、総会等を通じて情報の共有を図っている。

問 6次産業化を進める為にも広範囲なシンポジウム等の計画はあるか。

商工農林課長 本町単独の事業はないが、指導農業士数名と共に規模の拡大、遊休農地の解消に努めたい。



認定農業者への支援

問 県道矢祭棚倉自転車道の改修と活用法について

答 適切に補修等を行い、ウォーキング等の計画をしたい

問 老朽化に伴い全面的に舗装に亀裂が多く、その部分に草が生えている。特に、橋と道路面に段差が生じており、歩行者はもちろん、速度の速い自転車は特に危険である。全面的な改修計画はあるのか。

町長 棚倉土木事務所に確認したところ、全体的な改修計画はない。日常のパトロールを行うとともに、舗装の劣化や段差等により通行に支障がある箇所については、適切に補修等を行うとの回答があった。

問 八槻地区（八槻都々古別神社近く）の休憩所のベンチが老朽化しているが、改修計画はあるか。

町長 平成28年度にベンチの補修を行うとの回答。

ントの計画はありませんとの回答。

問 現在、町では健康増進のために、たなぐら健康サミット、健康たなぐら21計画、生涯健康に向けた町民1スポーツ運動等が実施されている。県道矢祭棚倉自転車道を使い、棚倉町単独で健康ウォーキングなどが出来ないのか。

生涯学習課長 28年度設立が予定されているスポーツクラブにおいてウォーキング等の計画をした。

問 ボランティア等を活用し、沿道に桜や花を植えて整備出来ないか。

町長 国より樹木の伐採・植樹基準が示されており、さらに河川占用許可を受けた上で行う事になるとの回答。

問 行政組織機構改革について

答 住民の方にとってわかりやすく便利な体制であることが望ましい

問 観光に関する事が商工農林課より企画情報課に移行され、新課名は地域創生課となる。観光には場所（観光地）、宿泊所（ルネサンス棚倉、旅館等）、物産（お土産）の3点がセットかと思われるが、宿泊、物産の2点が産業振興課で地域創生課と別になつてしまったが、連携がうまくいくのか。

町長 連携を図ることや、他の課との切磋琢磨の中から、新しいアイデアや工夫が生まれてくるものと考えている。

問 産業振興課の企業誘致に関して、企業誘致活動は少子化対策、雇用確保のために大切なことで、行政改革では検討するとしていた



老朽化した自転車道

が、専任の職員の配置が出来るのか。

町長 今回の改革では、企業誘致に関して、専任の職員を設置せず、担当課内で業務を推進する。

問 商工農林課より建設課に移る農業土木に関することは、利用者にはわかりやすく便利だが、国や県との関係では省や部が違い問題は生じないか。

町長 業務を整理・分散して処理することで問題は生じないと考える。



和知 裕喜

問 特別支援を必要とする子どもたちへの対応は

答 支援員を配置するなど、よりよい教育機会をつくる

問 町内の幼稚園、小学校において特別支援を必要とする園児数、児童数は。

町長 支援を必要とする園児は16名。特別支援学級の児童は24名。支援を受けながら学校生活を送っている。

問 児童生徒の数が年々減少しているが、その反面、特別支援の児童生徒数が増えている要因及び対応は。

教育長 それぞれの環境が異なることから、要因を特定することは難しいが、支援員を配置するなど対応している。

問 近津幼稚園に設置されている「なかよし園」について、3年保育がスタートした際の対応策は。

健康福祉課長 28年度において、子どもセンターの2階を改修し移動する予定。



近津幼稚園園舎

問 棚倉高校跡地の利用計画の検討は

答 現段階では事業計画はない

問 2つの高校が統合してから約8年が経過しているが、町としてこの利用計画はあるのか。また活用を検討する組織を設置しては。



8年が経過した、旧棚倉高等学校

町長 現在町としては具体的な事業計画は持っていない。利活用検討会議のような組織の設置等を考えていきたい。

問 福島県との交流の進行状況は。

企画情報課長 利活用の連絡調整会議等は開催していないが、町の意向を県へ反映するため、県南地方振興局で来庁した際に、この件に関して情報交換をしている。

問 ルネサンス棚倉の改修費用積立基金の残額は

答 平成28年3月末で、6341万円の見込み

問 クアハウス改修に続き、クラブハウスやコテージの大規模改修の計画が必要では。また、財政状況も厳しいことから、検討会議を持つ必要があるのではないか。

町長 基本協定書に基づく調整会議を月に1度、定期的に開催している。その中で、施設調整の協議をしていく。



佐藤 喜一

問 原発事故に伴う営業損害賠償と風評被害対策を問う

答 関係機関とともに賠償延長を求めて行く

問 風評被害が払拭されていない。この状況をどう受け止めているのか。

町長 風評被害払拭に向け食の安全及び観光誘客に努めて行く。今後も風評被害がなくならない限り賠償延長を求めて行く。

問 米の全量全袋検査や放射性物質簡易分析検査を今後も継続するのか、見直しについては。

町長 平成28年度は引き続き実施予定、29年度以降については未定。

問 ルネサンス棚倉や城跡の歴史的遺産等を観光に活用し風評被害払拭に取り組むべきと思うが。

町長 棚倉町は城下町であり、また、ルネサンス棚倉などの資源を活用し、風評被害払拭に取り組む。

問 営業損害賠償を求めて行くとしているが、今後も変わらない

のか。賠償が打ち切られた場合の対応策が重要と考えるが。

町長 賠償が打ち切られないよう福島県原子力損害対策協議会や関係機関とともに賠償延長を求めて行く。

問 イノシシ被害防止施策は

答 東白川地域鳥獣被害防止広域対策協議会を設立予定



被害防止対策協議会

問 イノシシ被害情報をどの様に把握に努めているのか。また、対応策は。

町長 耕作者等から連絡が入り、職員が現地を確認、被害状況を把握し、捕獲隊へ依頼している。捕獲隊が活動できる体制を取り対応をしている。

問 駆除頭数及び補助金等の状況は。

町長 本年2月末現在で113頭、1頭当たり2万円の補助を行っている。

問 ワナ、電気柵等の購入補助やイノシシ駆除に対する補助等の見直しを含め早急な防止策が必要と考えるが。

町長 有害鳥獣対策協議会への補助に於いて購入、貸し出し対応捕獲補助は、東白川地域鳥獣被害防止広域対策協議会で見直しを図る。

問 狩猟団体（猟友会）への補助支援策等の検討が必要では。

町長 鳥獣被害防止特措法に基

づき、平成28年度、鳥獣被害対策実施隊を設置予定、隊員への優遇措置は狩猟所持許可の更新等に際しての技能講習の免除、狩猟税の軽減並びに災害に対する補償を受けられる。



ひろ たく お 田 卓 雄

問 旧棚倉高校跡地活用はあるか

答 再利用する事業があれば検討して行きたい

問 本町はどの様に取り組んで行くのか。今後について、当局から連絡があったのか。

町長 早急な取り壊しを要望している。再利用する事業があれば検討していきたい。管理者からは連絡は来ていない。

問 利用計画を策定しては。

町長 公共施設等総合管理計画において検討して行く。

問 町道等の除雪対策を問う

答 従来通りの対応により、車両通行の安全に努める

問 今年の1月に2度の大雪に見舞われたが、除雪の際に、歩道に雪が覆われ歩けない箇所がある。児童生徒の通学路の確保は十分か。

町長 地域の方々や、保護者の方々にご協力を願いたい。

問 高齢者（ひとり暮らし）宅付近の対応は。

町長 シルバー人材センターへ委託し、経費の3割の自己負担で対応している。

問 保育園の待機児童をなくす方策は

答 新園舎建設及び、平成30年度からの3年保育で対応

問 統合保育園建設及び、棚倉幼稚園3年保育実施で待機児童への対応は見受けられるが、現在の待機児童数は。また、過去3年間の園児数・待機児童数は。

町長 3月1日現在で、園児数169名、待機児童数25名。平成24年度園児数156名、待機児童数12名。平成25年度園児数176名、待機児童数10名。平成26年度園児数177名、待機児童数15名。



通学困難な歩道(関口)

問 交差点等の対応は。

町長 再度除雪が必要な交差点については、翌日以降に対応する。

問 統合保育園の定員数及び、用地取得の進捗状況は。

町長 定員は150名。用地については、地権者から内諾を得ており、農地転用許可後は速やかに売買契約を結びたい。

問 棚倉幼稚園の3年保育の拡充は考えているか。

教育長 さまざまな検討を行い、人員、施設の充実に努め、平成30年度の完全実施を迎えたい。

問 町民プールの建設は考えているか

答 第6次振興計画において、十分に検討していく

問 園児以下の水遊び場は確保されているのか。

教育長 第6次棚倉町振興計画実施計画において十分な検討をしていく。



こん とう まさ みつ 近 藤 正 光

問 中学校下校時の交通渋滞の現状分析と今後の対応は

答 路上駐車禁止、周辺の公共駐車場の利用徹底を行う

問 教育委員会では、学校側とどのような協議をしたのか。

教育総務課長 平成27年の夏頃から、学校長より相談を受けていた。当面、学校長より各保護者宛に文書にて注意喚起をした。

問 現地調査を図り、駐車場の指定等について、生徒の命、安心安全を守るための対応策は。

教育総務課長 駐車場の指定はしていないが、家庭の事情により利用してほしい。

問 学校敷地内のテニスコート西側の敷地を待機場所としての利用は可能か。

教育総務課長 学校敷地内の利用については、学校側と相談し、確保が可能か、また安全性の問題も含めて協議していきたい。

教育長 危険性も考慮し検討していきたい。

問 自転車通学生徒の事故等に関する損害保険助成制度の創設の考えはあるか。

教育長 PTA安全互助会や任意の損害保険の加入を勧めている。

問 保険料については、公費で全額負担してはどうか。

教育長 現行の制度で引き続き対応していきたい。



問題となっている教育会館前

問 中学校と県立高校の連携授業の考えはあるか

答 修明高校との連携において、研究授業や職場体験を行っている



古市 泰久

問 未調査等の資料など埋没していると聞いているが、新たな歴史的発見や謎の解明が図られるのでは。

生涯学習課長 今後、各地区の未指定文化財の把握、調査を進めていきたい。

問 まるごとミュージアム事業の今後の構想について。

教育長 今年度は、棚倉城を中心に、町内の城をテーマにした城サミットを予定している。

問 天守閣のない城跡サミットを検討されてはどうか。

生涯学習課長 十分に検討していきたい。



棚倉城の隅櫓(北側)

問 幼稚園の三年保育を問う

答 三歳児クラスは入園審査時の面談により判断し、選考



3年保育が始まった棚倉幼稚園

問 3歳児クラスの園児はどのような選定方法、基準で決め、保育士などの人員の確保はどのように考えているか。また、保育園との保育方法の違いは。

教育長 入園審査時の面談により児童の心身の発達、家庭での保育の状況をみて判断し、選考した人員の確保については、幼稚園教諭の増員を図っている。また、幼稚園は小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う場である。

問 重要里地里山500選への選定を問う

答 町内の民間団体が行う里山環境整備等の活動に対する支援事業に取り組んでいく

問 「関口・流区」が選定されたが、今後、町内の他地域での調査予定と事業内容は。

町長 現段階においては新たな調査地域の計画はないが、平成28年度の里山事業において、植生調査、昆虫調査の専門家を中心としたプロジェクトチームを編成し、里山の活用に向けた計画の策定業務に取り組み予定なので、その計画策定業務の中で、調査地域の拡大なども十分検討していきたい。事業内容は、本町内幼稚園園児を対象とした体験型プログラムの実施、幼児・小学生低学年を含む親子を対象とした里山探検、住民参加型の学習会の開催、里山の活用に向

問 歴史文化基本構想の策定の要旨について

答 文化財を保存、活用し、地域の活性化を図るための構想であり、事業採択に向けて要望している

問 基本構想の策定計画は、歴史まちづくり法との関連性はあるのか。

生涯学習課長 歴史まちづくり法計画の基礎的資料となりうる。

けた計画の策定業務、さらに、町内の民間団体が行う里山環境整備等の活動に対する支援事業に取り組んでいく。

問 民間団体の整備及び事業参加、予定状況はどうなっているか。

町長 平成27年度は、民間団体から2件の申請と、そのほかに相談、問い合わせが2件。

問 空き家対策を問う

答 空き家を借りたり買いたい方の情報提供に努めてまいりたい

問 特定空き家の調査認定はどの程度進んでいるのか。

町長 空き家実態調査業務を3月25日を工期として委託し、現在調査中。現時点においては空き家の数を把握している状況であり、特定空き家の詳細な調査を行う段階ではない。



佐川 裕一

問 空き家のデータベース化は行っているのか。また、空き家や空き家跡地の活用はどのように考えているのか。

町長 空き家実態調査業務委託の中でデータベース化を行い、空き家等の有効活用は、地域間交流や定住促進による地域の活性化を図るため、空き家を貸したい方や売りたい方の情報を収集し、空き家を借りたり買いたい方の情報提供に努めていきたい。



問 放課後子供教室で学力の向上は 答 県のモデル事業を参考にしたい

問 放課後活動を通じて学力や体力の向上を目指す取り組みが目ざれている。町での取り組みは、
町長 現在、放課後児童クラブでは預かっている生徒に、指導員が宿題をやらせるなど必要な援助を行っている。放課後子ども教室はすべての生徒が対象で、月1回程度学校ごとに文化活動などを行っている。一部取り組んでいるが、それぞれの連携や一体運営が望まれているので今後検討していきたい。



地域創生で整備されたフィットネスクラブ

問 地域創生で予算の付いた事業は
答 ルネサンス棚倉を軸に展開

問 まち、ひと、しごと総合戦略への取り組みは。
町長 人口減少、少子高齢化に対応するため、昨年に十月に策定した。特に少子化に関しては、喫緊の課題であり、重点目標としている。具体的な計画は振興計画実施計画に計上している。

問 駅前活性化策をJR等と協議しているか
答 特に行っていない

問 棚倉駅は町の顔であり交通の要でもある。活性化にどのように取り組む考えか。
町長 JR等と具体的な協議は行っていないが、水郡線沿線の町村で必要要望活動などは行っている。今後は交通事業者と意見交



図書館が整備された棚倉駅前

換を重ね、施設活用や駅前の整備も、課題として取り組んでいきたい。利用促進についても、民間団体と協力しながら検討していきたい。
問 JRやJRバスなどと定期的な協議の場が必要では。
企画情報課長 公共交通の協議会でも意見交換しているもので、その中で進めたい。



藤田 智之

問 学校給食費の負担軽減を早急に実施すべき 答 新たな子育て支援のひとつとしては検討

問 近隣町村の負担軽減についての取組み状況は。
教育長 新たに、浅川町が給食費の2分の1を助成する予定。
教育総務課長 その他の町村については、矢祭町の1食あたりの補助は、小学校163円、中学校155円。鮫川村は小学校28円、中学校24円の補填。



学校給食の様子

問 石川町では、小中学校で3分の2の補助をするなど、近隣町村ではこの取り組みが進んでいるが、なぜ当町は取り組まないのか。

問 森林再生事業の取組みについて、郡内他町村よりも小規模な取り組みなのはなぜか
答 当町は、平成25年からの5年間の事業であり、請負業者の問題や福島県からの指導によるもの

町長 たくさんある子育て支援のなかのひとつとして考えている。



再生事業が待たれる森林

問 町内全域を対象にした交通ネットワークの要望について
答 町民の約4割の方が、交通不便地域に住まわれている状況である

問 町内全域を対象にした巡回バスの運行は町民の強い要望になっている。交通不便地域の町民への対応は。
町長 現在、地域公共交通網形成計画策定のための協議会を組織

し、3月末を目標に調査活動を進めているが、町内の交通手段は自家用車での移動の割合がほとんど占めている。駅や路線バスのバス停から一定以上の距離が離れている地域については、交通不便地域を解消するための施策について重点的に取り組む。



鈴木 政夫

問 ふるさと納税で、本町への納税はどれくらいあったか
答 平成20年から27年12月末で250件 総額約4671万円の寄付

問 町道改修協力者に対する確約書の日付は
答 平成17年のみで、月日は入っていないが、書類上、有効である

● 定例会・臨時会

会 議	開 会	閉 会	会 期	傍聴者数	一般質問	
					登壇人数	質問件数
第1回(定例会)	3月10日	3月19日	10	23	9	31
第2回(定例会)	6月17日	6月19日	3	61	9	31
第3回(定例会)	9月15日	9月18日	4	51	11	35
第4回(定例会)	12月22日	12月25日	4	14	7	24
合 計			21	149	36	121

● 提出議案数

種 類		件 数
町長提出	条 例	28
	予 算	35
	決 算	9
	専 決 処 分	11
	そ の 他 事 件	14
	合 計	97
議員提出	条 例	1
	意 見 書	—
	決 議	1
	規 則 / そ の 他	2
	合 計	4



平成28年3月定例会議

・ 議会の活動状況を報告します。
(平成27年1月1日～12月31日)

● 議長の会議等出席状況

内 容	件 数
会 議 ・ 総 会	80
式 典 ・ 大 会	37
陳 情 ・ 要 望	8
研 修	12
そ の 他	20
合 計	157

● 委員会等開催状況

区 分	委 員 会	開催日数
常任委員会	総務常任委員会	1
	厚生文教常任委員会	1
	建設経済常任委員会	3
	広報編集常任委員会	16
	議会運営委員会	4
	特別委員会	2
	議会全員協議会	5

参加した
主な
研修会

- 2/5～6 新議員研修会(棚倉町)
- 2/27 東白川地方地域医療に関する研修会(棚倉町)
- 5/26～27 町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 5/28～29 少子化対策特別委員会他町行政視察(群馬県)
- 7/24 東白川地方町村議会議員合同研修会(埴町)
- 8/3 町村議会正副議長・事務局長研修会(福島市)
- 9/2～3 東白衛生組合議会先進地視察(群馬県)
- 10/22 町村議会議員研修会(郡山市)
- 11/10 東白川地方町村議会議長会地域振興視察研修会(石川県)

議員研修報告

平成28年4月20日に、
スポーツツーリズム事業により
新たに生まれ変わった
ルネサンス棚倉の施設を、
森田総支配人の案内のもと
説明を受け体験しました。

